

1. 概要

別紙07年度活動計画表による。

2. 詳細

2.1. 普及活動

(1). 各種初心者教室の開催

- ・中学校野外行事
過去実施の福田南中、新田中からの情報待ち。今後吉備高原青少年自然の家、あるいは各市教委宛に案内状を送付し積極的に働きかけるのが好ましいが、このアクションは来年度からの課題としたい。
- ・秋の里山実りのフェスティバル
操山里山センターからの情報待ちであるが、本年度実施も確実と考えるので積極的に対応する。
- ・スポレクINOKAYAMA
現予定では、11月3日(土・祝)県営グラウンドで開催される。昨年度に準じ実施する。
- ・ライフパーク講座
昨年後期の講座は大変好評であったので、これに準じた実施でライフパークと調整したい。
なお、本年度は、1日追加し、倉敷美しい森での地図読み実習も導入したい。(地図は一般都市計画図)
- ・きのこグループ新人研修行事
昨年度2回実施したが、次回も実施したい希望があるので過去2回に準じ実施する。
- ・いずれの場合も事後のケア充実が求められるがアイデアをお願いしたい。

(2). パーマネントコースの再整備

- ・昨年度計画しながら実質進展しなかった。今年度からJOAのネットプリントによるマップ販売も開始され、また、固定コントロール関係の廉価版販売もあるのでとにかく前に進める。
- ・具体的な手順としては、以下が考えられる。
25コース中実態把握できていないコースを早急に把握する。
青少年野外活動施設がある箇所、およびもしくは従来情報から現在ほぼ整備されていると思われるコースを優先的に明確にし、webサイトでPRするとともにマップをネット販売する方向で具体化する。
- ・上記2項を併行実施が好ましいが、を優先しながら、も進めたい。
整備を前提にした調査優先コースは、今年度「玉野」「倉敷」「岡山日応寺」とし、管理施設とも折衝の上マップ作成、コントロール等のリニューアル具体化まで目処をつけたい。
項では、最低限6箇所は把握したい。

(3). 青少年施設等のOMAP作成整備

- ・まず優先的に独立行政法人吉備青少年自然の家周辺を完成させ、2.1.(1)中学校野外行事に積極的に展開する。なお、GPSも投入し来年度目標で県民大会(仮称)を開催可能にしたい。

(4). インストラクタ養成講習会の開催

- ・今年7月ごろ、JOAが広島で新しい規定に基づく養成講師講習会を開催する予定なので、これの受講を踏まえ、年度内実施の方向で具体化したい。

2.2. 競技活動

(1). 大会の開催(一般、パークO、トレイルO)

- ・笠岡市大会、福田公園大会は従来どおりで問題ないが、従来吉備路が開催していた大会をどう位置づけるか。また、新たな大会の開催をいつごろからどうするか。

(2). 全日本リレー大会への選手派遣

- ・今年度から超ベテランクラスが新設される。早めにとりまとめをしたい。

2.3. その他全般

(1). ホームページとMLの運用

- ・従来どおり運用しながら充実を図る。特にMLメンバー拡大への協力をお願いしたい。

(2). 各種大会参加とクラブ員獲得

- ・11月11日ねりんピック茨城が開催され、04年群馬以来のオリエンテリング競技がある。是非参加したい。
- ・県協会webサイトで加盟クラブ紹介をしているので吉備路の原稿をお願いしたい。

(3). 理事会の活性化

- ・多くの出席者で活発な議論が可能なよう、都度改善しながら進める。

(4).その他

- ・助成団体への助成申請
昨年同様、岡山県レクリエーション協会への助成申請を行う。
来年度SSFスポーツエイド、エネルギー財団、マルセン財団等への申請要否は10月の理事会で明確にする。
前述の県民大会(仮称)開催等で、GPSレンタル、EMITシステム調達等進めるならば是非申請すべきであるが、現状レベルでは、実質申請困難。
倉敷市の「里地里山景観保全事業」が来年度も継続されるなら、倉敷PC更新と真備新設を事業骨子として申請してみる。上記他の助成申請同様10月理事会で明確にする。
いずれにしても、この関係は長期方針に基づく事業がいかに順調に進展するかにかかっている。
- ・競技者登録
例年通り対応するが、全日本リレー派遣選手については、原則登録者からの選考としたい。
- ・ディレクタ、インストラクタ更新登録
来年度から従来JOA担当が県所管になる。ご協力を願う。

3. その他明確にしておきたい事項

(1). イベント等の広報活動のあり方

- ・メディア活用(記者クラブ活用含む)、行政活用(ライフパーク等)、一般へのチラシ広報等

(2). 大会主催(主管)取り扱いと経費負担等の考え方

- ・県協会の名義があるイベントについての広報(webサイト含む)は積極的対応で問題ないが、他の経費をどこまでどう取り扱うのが妥当か。
- ・クラブ主催もありうるが、この場合の協会スタンスはどうあるべきか？

(3). 07年度県レク助成申請他

- ・昨年度に準じ、消耗品、備品関係の調達に主体を置く。
- ・他団体の助成を得て2年後目途くらいにEMITシステム関係の導入を検討したい。
(ユニット30set、E-Card50で約80万円)
この場合、新しい県レベル大会の開催が不可欠であり、単年度での調達は困難。

(4). PCマップのネット販売について

- ・積極的に対応すべきであるが、具体的にどのように進めるか。
また、PCの管理元およびマップ著作権の取り扱いはどうあるべきか。

(5). JOA書籍類販売について

- ・各種書籍、広報ツール等、まとめれば格安で調達可能。なにをどの程度ストックするか。

(6). 業務遂行の主担当選任について

- ・協会主催(主管)の場合、基本的に主担当という位置づけのクラブを設けてはどうか。
- ・普及活動
初心者教室・インストラクタ養成関係...佐藤
PC再整備関係 ...濱上、伊東
青少年施設等のOMAP作成整備...佐藤
- ・競技活動
大会の開催全般(主催、主管)...佐藤
大会の開催(主担当クラブ)...梶房、堀

以上

